

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 17 日 (2006.8.17)

【公表番号】特表 2006-504119 (P2006-504119A)
 【公表日】平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-005
 【出願番号】特願 2004-518862 (P2004-518862)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/02 (2006.01)

G 0 2 B 1/10 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/02 B

G 0 2 B 1/10 Z

G 0 2 F 1/13357

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 6 月 28 日 (2006.6.28)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源を均質にするための鉱物粒子に基づいた拡散層であって、そのシート抵抗が 1 0 0 Ω よりも大きい電磁絶縁デバイスを組み込んだことを特徴とする、拡散層。

【請求項 2】

前記シート抵抗が 3 0 0 ~ 7 0 0 Ω であることを特徴とする、請求項 1 に記載の拡散層。

【請求項 3】

前記絶縁デバイスが、可視領域において半透明である少なくとも 1 つの導電層から成り、該導電層が可能な限り前記拡散層の近くに堆積されたことを特徴とする、請求項 1 に記載の拡散層。

【請求項 4】

前記導電層が、透明な導電性酸化物の粉末に基づいていることを特徴とする、請求項 3 に記載の拡散層。

【請求項 5】

前記拡散層が基材の上に堆積され、前記導電層が該拡散層の上に堆積されたことを特徴とする、請求項 1 ~ 4 の何れか 1 項に記載の拡散層。

【請求項 6】

前記拡散層が基材と組み合わせられ、前記導電層が該基材と該拡散層の間に配置されたことを特徴とする、請求項 1 ~ 4 の何れか 1 項に記載の拡散層。

【請求項 7】

前記拡散層が基材と組み合わせられ、該拡散層が該基材の一方の面に堆積され、前記導電層が該基材の反対側の面に堆積されたことを特徴とする、請求項 1 ~ 4 の何れか 1 項に記載の拡散層。

【請求項 8】

前記絶縁デバイスが前記拡散層に組み込まれたことを特徴とする、請求項 1 ~ 4 の何れ

か 1 項に記載の拡散層。

【請求項 9】

前記拡散層が粒子と結合剤を含む部材から作製され、該結合剤によって該粒子が互いに凝集できるようになり、前記絶縁デバイスが該部材の一方又は他方から成ることを特徴とする、請求項 1 ～ 8 の何れか 1 項に記載の拡散層。

【請求項 10】

前記粒子が金属又は金属酸化物から作製されたことを特徴とする、請求項 9 に記載の拡散層。

【請求項 11】

ZrO_2 の粒子を含有することを特徴とする、請求項 9 に記載の拡散層。

【請求項 12】

前記粒子のサイズが $50\text{ nm} \sim 1\text{ }\mu\text{m}$ であることを特徴とする、請求項 9 ～ 11 の何れか 1 項に記載の拡散層。

【請求項 13】

前記粒子が $F:SnO_2$ 又は ITO に基づいていることを特徴とする、請求項 9 ～ 12 の何れか 1 項に記載の拡散層。

【請求項 14】

前記結合剤が無機又は有機の導電性結合剤であることを特徴とする、請求項 9 に記載の拡散層。

【請求項 15】

前記基材がガラス基材であることを特徴とする、請求項 1 ～ 14 の何れか 1 項に記載の拡散層。

【請求項 16】

前記基材が、ポリマーに基づく透明基材であることを特徴とする、請求項 1 ～ 14 の何れか 1 項に記載の拡散層。

【請求項 17】

前記拡散層が、絶縁以外の機能性を有するコーティング、低放射率機能、静電気防止機能、曇り防止機能、又は防汚機能を備えたコーティングを組み込んでいることを特徴とする、請求項 1 ～ 16 の何れか 1 項に記載の拡散層。

【請求項 18】

光透過率 T_L が 20 % よりも高いことを特徴とする、請求項 1 ～ 17 の何れか 1 項に記載の拡散層。

【請求項 19】

厚さが $0.5 \sim 5\text{ }\mu\text{m}$ であることを特徴とする、請求項 1 ～ 18 の何れか 1 項に記載の拡散層。

【請求項 20】

光源を備えたシステムにおける拡散基材を製造するための、請求項 1 ～ 19 の何れか 1 項に記載の拡散層の使用。

【請求項 21】

背面照光システムにおける拡散基材を製造するための、請求項 1 ～ 19 の何れか 1 項に記載の拡散層の使用。

【請求項 22】

前記基材が、背面照光システムを構成するガラスシートの 1 つであることを特徴とする、請求項 20 に記載の拡散層の使用。

【請求項 23】

フラットランプシステムにおける拡散基材を製造するための、請求項 1 ～ 19 の何れか 1 項に記載の拡散層の使用。

【請求項 24】

前記基材が、前記フラットランプシステムを構成するガラスシートの 1 つであることを特徴とする、請求項 23 に記載の拡散層の使用。

【請求項 25】

前記基材が、「ダイレクトライト」の用途に適合した特徴的な寸法を有することを特徴とする、請求項 20～24 の何れか 1 項に記載の拡散層の使用。

【請求項 26】

前記層の厚さ及び / 又は被覆密度が堆積表面全体で異なることを特徴とする、請求項 20～25 の何れか 1 項に記載の拡散層の使用。